

石丸勝一様

殿

承 考

肥前佐賀今津

海産物  
荷受問屋

碓

支

店

大正八年五月廿七日

電話 四六六番  
電掛 (イカリ) 文 (ニイ)

謹啓時下初夏之候、貴之御清栄奉賀上矣

先般は未次同道より拜趨を得、幸に御時

申上居迄、御辭に於ける事業に就て調査

の書類は直ちに出来揚り居、其何れも多

大数字の誤算、或は斗、画の杜撰、等の

欠点、且、数見致し、小冊執筆者ト、通ふ

段、其多忙の爲め、訂正おさし、様を得を

念由にあり、か中、数字の杜撰は、専門的

に御研究と下、及び御了解、出来得べく、

と、信し、大伴に於て、事業の性質に就て

御了解、なかり、此處の主眼は、達せられ、

ると、信し、かり、御多忙中、恐入、其、一、段、

御自、を、運、一、事、交、御、愚考、の、上、何、分の、御

教示、を、仰、せ、交、り、受、一、事、是、引、付、申、上、交、失

礼、を、し、不、觀、致、次、在、申、要、月、中、迄、の、御、矣

No. 1